

『運輸安全マネジメント』の取り組み

2023年度(2023年4月～2024年3月)

わが社の事故防止のための安全方針

安全輸送、輸送品質向上は、当社の得意先に対する最重要課題であり、経営の根幹をなすものであり、運輸安全マネジメントを実施し、安全品質向上を図り、物流企業としての社会的責任を果たし、安全運行はプロドライバーの社会的使命であり、関係法令を遵守した安全優先の企業構築に努める。

社内への周知方法

- 安全方針を従業員に配布するとともに社内に掲示する。
- 従業員に周知徹底し安全運輸の高揚に努めます。
- 点呼の際に周知徹底する。
- アルコール濃度ゼロ以外の乗務禁止。

安全方針に基づく目標

1. 事故災害

	2021年度結果	2022年度目標	2022年度結果	前年対比	2023年度目標
人身事故	0件	0件	0件	0件	0件
車両事故	0件	0件	0件	0件	0件
労働災害	0件	0件	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件	0件	0件

2. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故

	2021年度結果	2022年度目標	2022年度結果	前年対比	2023年度目標
事故報告	0件	0件	0件	0件	0件

わが社における安全に関する情報交換方法

- 安全会議・研修会において、ヒヤリ・ハット情報等を安全に関する意見交換会を行う。
- 年最低1回は個人面談を実施し乗務員からの情報を収集することにより社内で情報を共有する。
- 毎月の社内研修会において、ドラレコ動画を活用し事故事例等の情報交換をする。

わが社の安全に関する反省事項

- 前後左右の安全確認不足や危険予測不足によるヒヤリ・ハット事例が大半を占めている。
- 作業指揮者の指示が曖昧で、荷卸しの際のヒヤリ・ハット事例が多かった。
作業前に作業手順を共有し的確な指示を出して作業を行う。

反省事項に対する改善方法

- 2023年度については、下記安全確認方法等を再度徹底指導する。
 - 「危険予測の向上」 → 具体的な事故ケースを用いて、座学・実技を体験させる。
 - 「不安全行動とは？」 → 心理的作用、行動原理、不安全行動の結果を踏まえ、リスクと対価の刷り込みを行う。
これらの原理を完全に把握する事で、継続して事故件数『ゼロ』を目指す。
- 安全作業マニュアルを見直し、定期的な実技講習を実施し再度徹底指導する。
「なぜその様に行動したか？」を合言葉に、労働災害事故件数『ゼロ』を目指す。

2023年4月1日
株式会社和孝運輸
代表取締役 馬場 啓

